

## 2017年度 4-12月期 業績概要

### 注意事項

- **当社は、2017年度より決算期を3月20日から2月末日に変更します。**  
本資料内2017年度予想値〈参考値〉は、対象期間を従前の決算期間（2017年3月21日～2018年3月20日）に置き換えた数値を使用しています。  
(詳細は巻末\_参考資料P.15を参照下さい。)
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2017年3月21日～2017年12月20日)

# 目次

---

## 1. 2017年度4-12月期 連結決算

- 2017年度4-12月期実績 (連結・セグメント別)
- 事業セグメント別売上高構成比  
(16年度4-12月期→17年度4-12月期)
- 仕向先別売上高 / 売上高構成比  
(16年度4-12月期→17年度4-12月期)
- 営業利益増減要因分析  
(16年度4-12月期→17年度4-12月期)
- 2017年度3Qにおける取り組み

## 2. 2017年度通期 連結決算見通し

- 2017年度通期 見通し (連結)

## 3. 参考資料

- 決算期変更による影響額
- セグメント変更による過年度遡及
- 設備投資,研究開発費,為替状況
- B/S構造の推移
- 連結売上高・営業利益推移
- 四半期連結売上高推移
- 四半期連結受注推移
- 主要生産拠点

# セグメント別事業概要

## モーションコントロール

### 【主要製品】

- ・ ACサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ

など



ACサーボ  
Σ-7シリーズ



汎用インバータ  
ゼロシリーズ



マトリクス  
コンバーター  
U1000

## ロボット

### 【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
  - アーク・スポット溶接, 塗装用途向け
  - FPD搬送, ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオ・メディカル用途向けロボット
- ・ 人共存型ロボット

など



新小型ロボット  
MOTOMAN-GP8



新型アーク溶接ロボット  
MOTOMAN-AR1730



人共存形ロボット  
HC10

## システムエンジニアリング

### 【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電機システム
  - ・ 上下水道用電気計装システム
  - ・ 大型風力発電用電機品
  - ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- など



大型風力発電用  
発電機とコンバータ



連続鋳造設備



パワーコンディショナ  
Enewell-SOL P2H



上下水道用  
電気計装システム

## その他

### 【主要製品】

- ・ 情報関連事業
- ・ 物流サービス

など

---

# 1. 2017年度4-12期 連結決算

## 2017年度 4-12月期実績（連結）

### ● 旺盛な需要を受け、大幅に増収増益（過去最高）

	<b><u>2017年度</u></b> <b><u>4-12月期</u></b>	2016年度 4-12月期	<b><u>前年同期比</u></b>	
			<b>増減額</b>	<b>増減率</b>
売上高	<b><u>3,398億円</u></b>	2,847億円	<u>+552億円</u>	<u>+19.4%</u>
営業利益	<b><u>416億円</u></b>	216億円	<u>+200億円</u>	<u>+92.3%</u>
経常利益	<b><u>416億円</u></b>	225億円	<u>+191億円</u>	<u>+85.0%</u>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b><u>297億円</u></b>	147億円	<u>+149億円</u>	<u>+101.4%</u>

## 2017年度 4-12月期実績（セグメント別）

### • (M) (R)を中心に売上高は大幅に伸長し、収益性が大きく改善

（単位：億円）

	2017年度 4-12月期		2016年度 4-12月期		前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>3,398</b>		<b>2,847</b>		<b>+552</b>	<b>+19.4%</b>
(M) モーションコントロール	1,641		1257		+384	+30.5%
(R) ロボット	1,205		1021		+185	+18.1%
(S) システムエンジニアリング	409		402		+7	+1.7%
その他	144		167		▲ 24	▲14.1%
<b>営業利益</b>	<b>416</b>	<b>12.2%</b>	<b>216</b>	<b>7.6%</b>	<b>+200</b>	<b>+92.3%</b>
(M) モーションコントロール	322	19.6%	169	13.4%	+154	+91.0%
(R) ロボット	135	11.2%	79	7.8%	+56	+70.3%
(S) システムエンジニアリング	▲ 31	▲7.5%	▲ 17	▲4.2%	▲14	-
その他	1	0.6%	▲ 5	▲3.3%	+6	-
消去または全社	▲ 12	-	▲ 9	-	▲ 2	-
<b>経常利益</b>	<b>416</b>	<b>12.2%</b>	<b>225</b>	<b>7.9%</b>	<b>+191</b>	<b>+85.0%</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>297</b>	<b>8.7%</b>	<b>147</b>	<b>5.2%</b>	<b>+149</b>	<b>+101.4%</b>

[注.] 2017年度4-6月期より「モーションコントロール」に含めていた太陽光発電用

パワーコンディショナを「システムエンジニアリング」に含める等のセグメント区分変更を実施

なお、2016年度4-12月期 実績については、セグメント区分変更後のベースで記載（詳細は巻末\_参考資料を参照）

## 2017年度 4-12月期実績（セグメント別）

---

### モーションコントロール

- ACサーボは、生産設備の高度化・自動化を中心とした高需要により、大幅な増収増益
- インバータは、米国のオイル&ガス関連需要などの回復により、大幅な増収増益

### ロボット

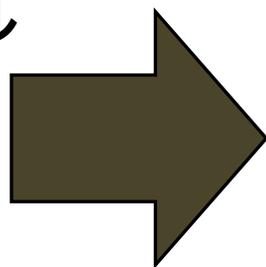
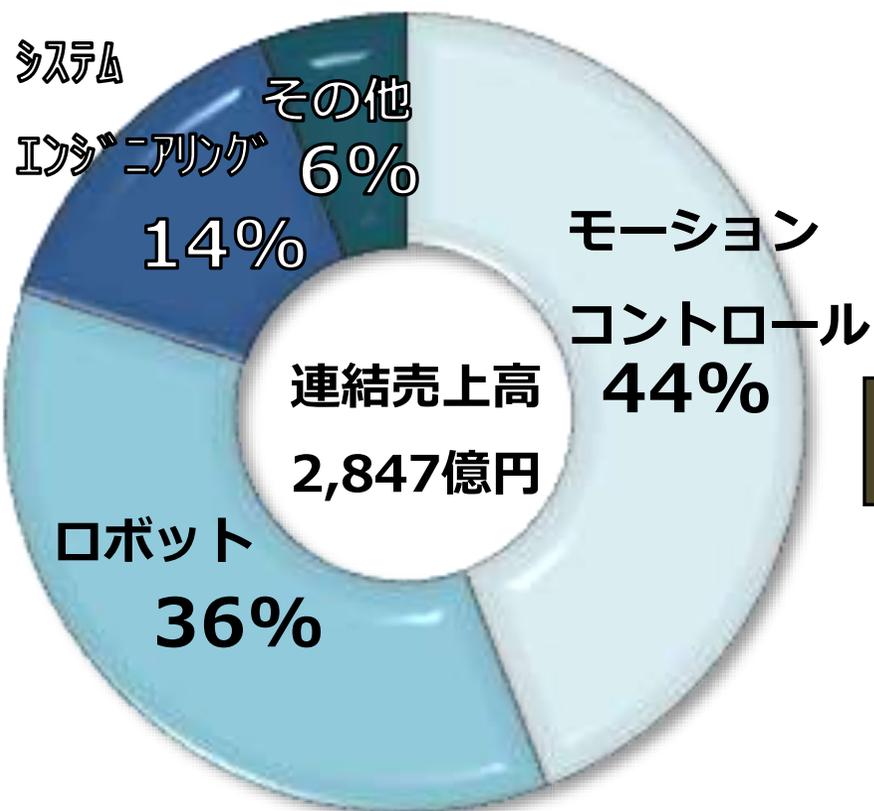
- 自動車関連は海外を中心に堅調
- 一般産業分野は生産自動化に伴う旺盛な需要を受け、中国を中心に拡大
- 液晶・半導体はグローバルで好調

### システムエンジニアリング

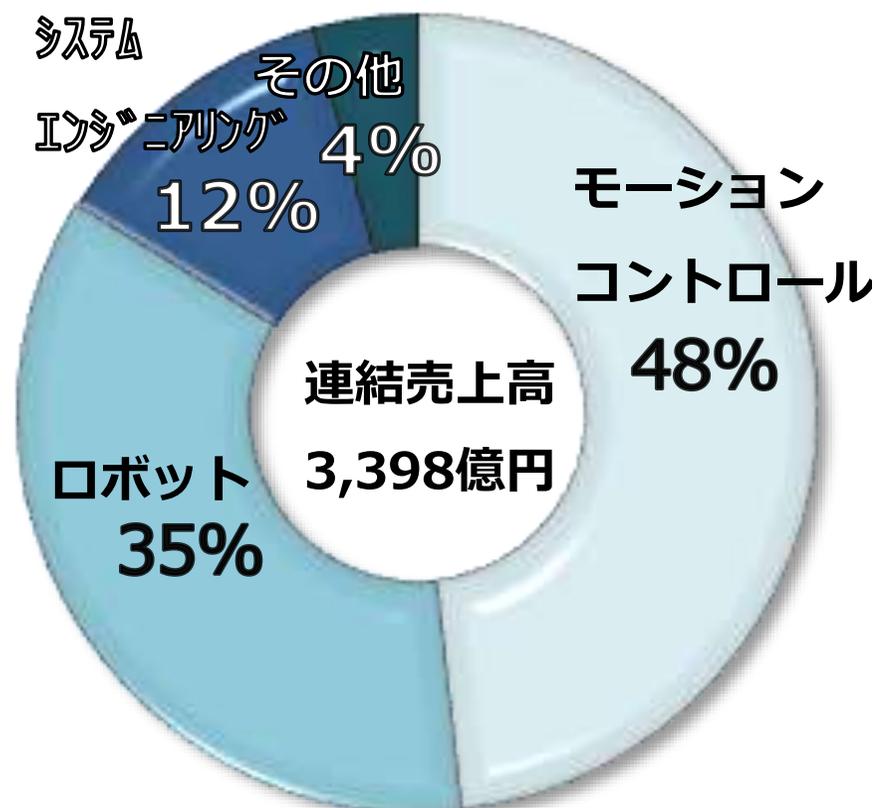
- 鉄鋼・社会システム，大型風力発電関連は堅調
- 太陽光発電関連は販売低迷により収益性が悪化

# 事業セグメント別売上高構成比

## 2016年度 4-12月期



## 2017年度 4-12月期



## 仕向先別売上高（2016年度 4-12月期 → 2017年度 4-12月期）

### ● 中国・アジアを中心に全地域で売上高が増加

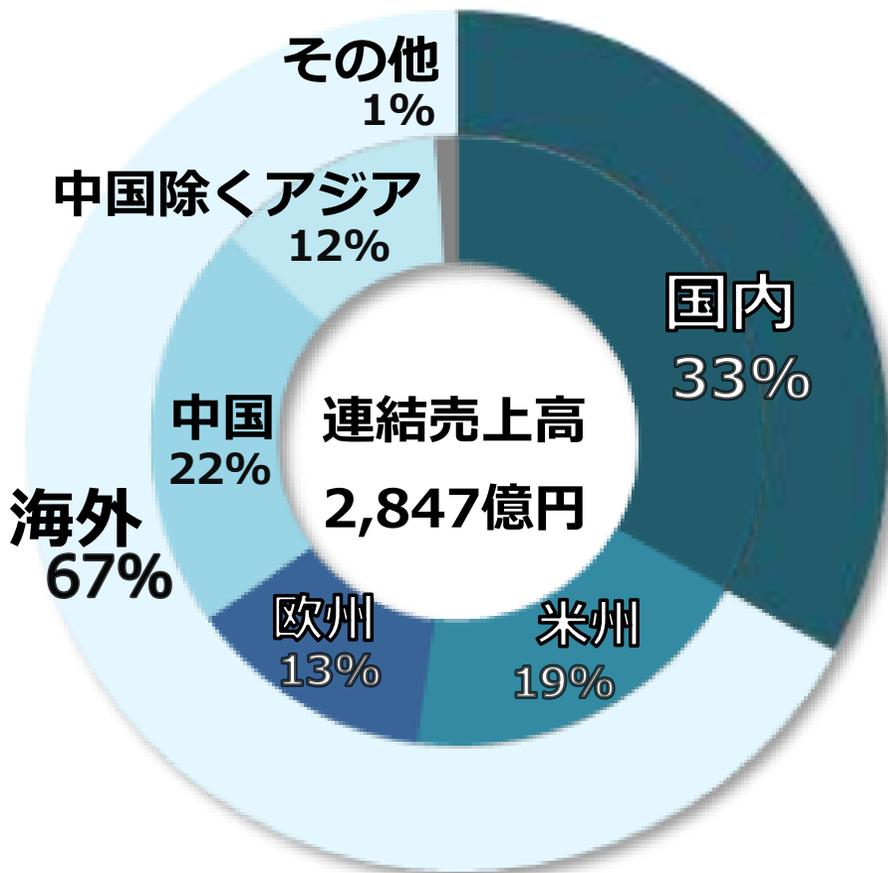
（単位：億円）

	2017年 4-12月期	2016年 4-12月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,398	2,847	+552	+19.4%
国内	1,042	943	+98	+10.4%
海外	2,357	1,903	+453	+23.8%
米州	622	544	+79	+14.5%
欧州	439	367	+72	+19.8%
中国	798	615	+183	+29.7%
中国除くアジア	466	346	+120	+34.5%
その他	31	32	▲1	▲2.4%

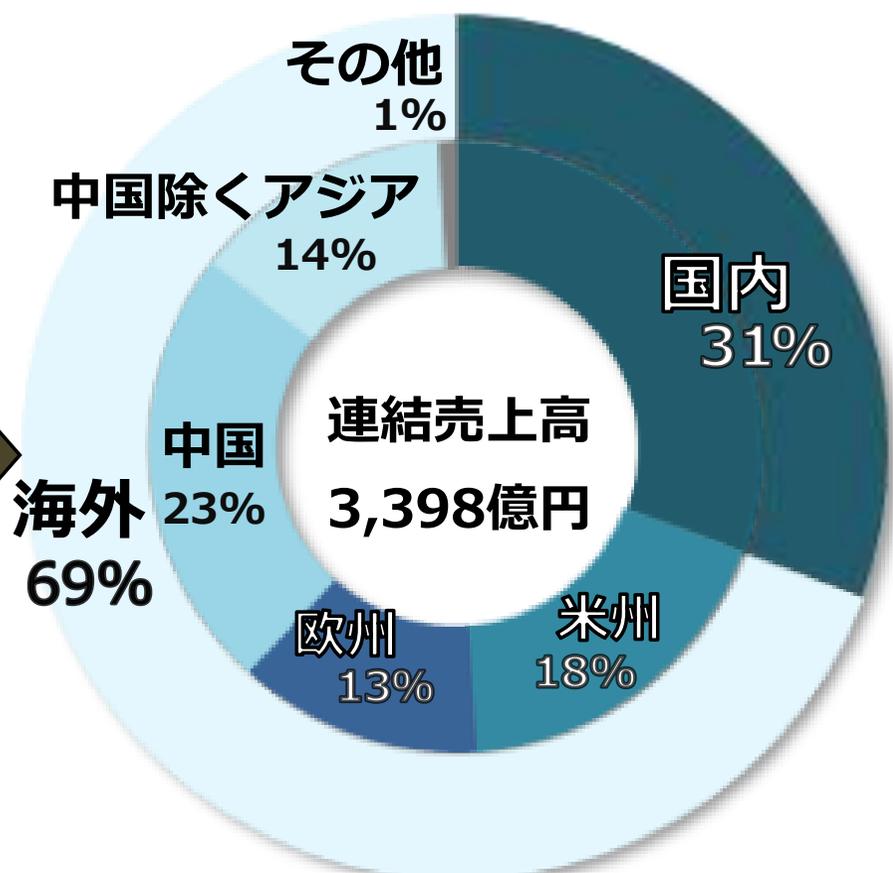
[注] その他には、南アフリカ、オーストラリア等を含む

# 仕向先別売上高構成比

## 2016年度 4-12月期

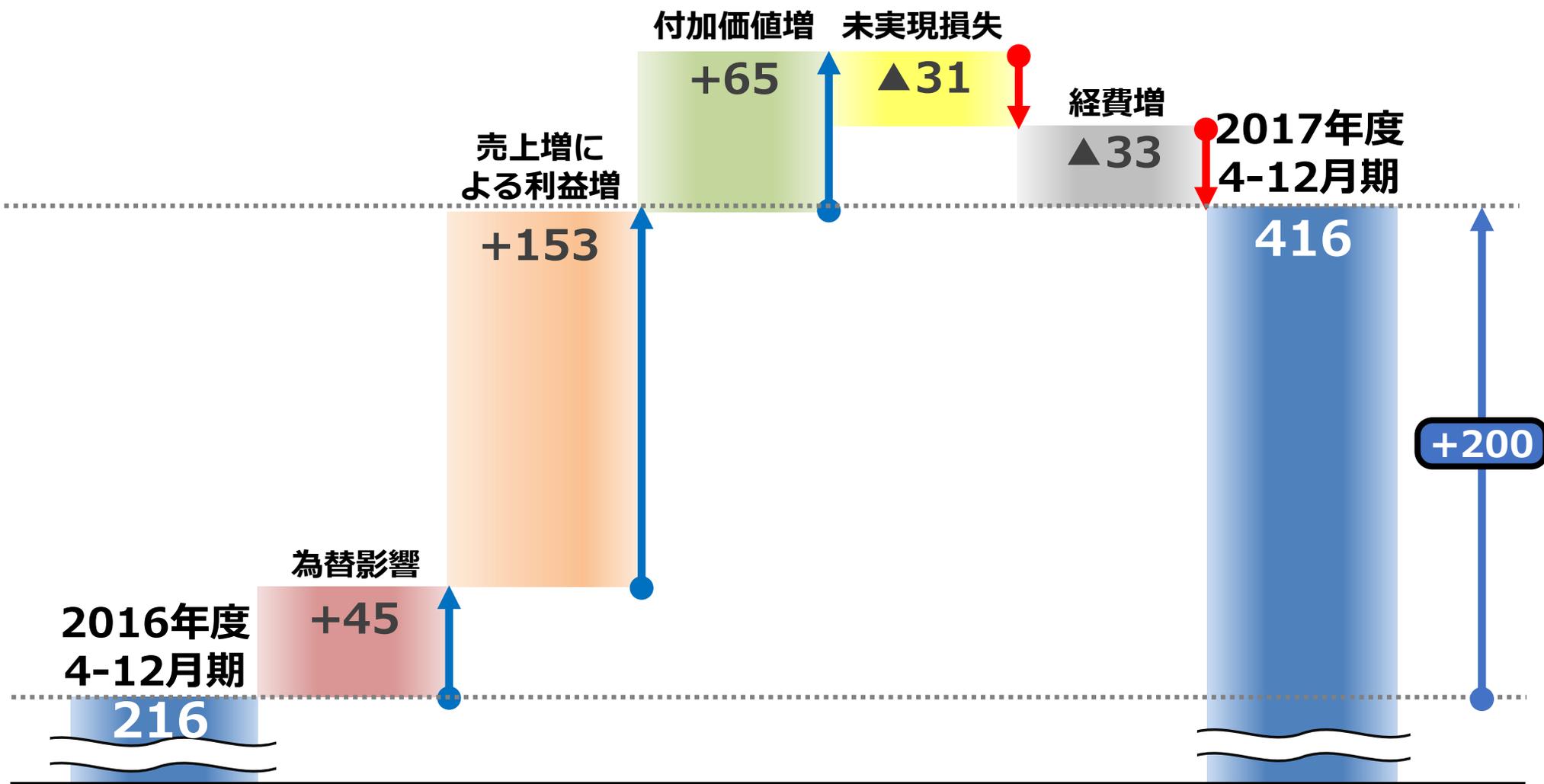


## 2017年度 4-12月期



# 営業利益増減要因分析（2016年度 4-12月期 → 2017年度 4-12月期）

（単位：億円）



# 2017年度3Qにおける取り組み

## ➤ コア事業における収益力強化

### ➔ 製品ラインアップの拡充・市場投入

- ・ 世界最小クラスの超小型「 $\Sigma$ -7mini」 (17年12月1日)
- ・ 多用途適用ロボット29機種 (可搬質量35~600kg) (17年11月7日)
- ・ 新型中空スポット溶接ロボット「MOTOMAN-SP225H」など3機種 (17年11月29日)
- ・ 新型塗装ロボット「MOTOMAN-MPX1950」 (17年11月29日)

### ➔ 新市場,新事業領域の開拓

- ・ 「ねじ締め自動化装置」の  
日東精工(株)との共同開発 (17年11月28日)
- ・ ロボットAIピッキング機能の開発 (17年11月21日)

## ➤ 開発力・生産力・販売力の継続的進化

### ➔ IoT,AIを活用したi<sup>3</sup>-Mechatronicsの具体化

- ・ AIベンチャー企業 クロスコンパス社との  
資本提携 (17年10月31日)

$\Sigma$ -7mini



MOTOMAN-SP225H



MOTOMAN-MPX1950



多用途適用ロボット29機種の一例

---

## 2. 2017年度通期 連結決算見通し

## 2017年度 通期見通し（連結）

- 堅調な受注を背景に、売上高・利益ともに過去最高を計画

	<b>2017年度</b>	2016年度	<b>前年同期比</b>		2017年度
	<b>予想</b> 〈参考値〉	実績	増減額	増減率	前回予想〈参考値〉
売上高	<b>4,660億円</b>	3,949億円	+711億円	+18.0%	4,660億円
営業利益	<b>570億円</b>	304億円	+266億円	+87.4%	570億円
経常利益	<b>570億円</b>	320億円	+250億円	+78.3%	570億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>410億円</b>	204億円	+206億円	+101.0%	410億円

[注.1] 2017年度予想値〈参考値〉は、対象期間を従前の決算期間（2017年3月21日～2018年3月20日）に置き換えた数値  
（詳細は巻末\_参考資料を参照）

[注.2] 表内「2017年度 前回予想」は、2017年10月23日 2Q決算発表時の数値

---

## 3. 参考資料

## 決算期変更による影響額（下期、通期）

・2017年度より決算期を『3月20日』から『2月末日』に変更による影響額は下記の通り

2017年度 見通し (単位：億円)		決算期変更前			決算期変更後		
		上期 実績	下期 予想	通期 予想	下期 予想	通期 予想	差違
<b>売上高</b>		2,291	2,369	4,660	2,209	4,500	▲ 160
(M)	モーションコントロール	1,104	1,030	2,134	998	2,102	▲ 31
(R)	ロボット	804	878	1,683	844	1,648	▲ 35
(S)	システムエンジニアリング	282	343	625	260	541	▲ 84
	その他	101	118	219	108	209	▲ 10
<b>営業利益</b>		278	292	570	262	540	▲ 30
(M)	モーションコントロール	218	196	414	191	408	▲ 5
(R)	ロボット	86	102	187	95	180	▲ 7
(S)	システムエンジニアリング	▲ 18	4	▲ 14	▲ 13	▲ 31	▲ 17
	その他	▲ 1	▲ 2	▲ 3	▲ 3	▲ 3	▲ 1
	消去または全社	▲ 7	▲ 7	▲ 15	▲ 8	▲ 15	▲ 0
<b>経常利益</b>		275	295	570	265	540	▲ 30
<b>親会社に帰属する当期純利益</b>		211	199	410	179	390	▲ 20

## セグメント変更による過年度遡及（2016年度実績）

- ・2017年度より、従来(M)に含めていた太陽光発電用パワーコンディショナを(S)に移すなどの**セグメント区分を見直し**

		2016年度（セグメント変更後）							変更 影響額
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	通期
(単位：億円)									
売上高		904	973	1,876	970	1,102	2,072	3,949	-
(M)	モーションコントロール	408	424	832	425	463	888	1,720	▲113
(R)	ロボット	324	360	684	337	379	716	1,400	-
(S)	システムエンジニアリング	117	130	247	155	192	347	594	+112
	その他	55	59	114	54	68	122	235	+1
営業利益		55	84	138	78	88	166	304	-
(M)	モーションコントロール	46	62	108	61	59	120	228	+20
(R)	ロボット	22	34	56	23	23	47	103	-
(S)	システムエンジニアリング	▲9	▲7	▲16	▲1	11	10	▲6	▲15
	その他	▲2	▲2	▲4	▲1	▲2	▲3	▲7	▲5
	消去または全社	▲3	▲2	▲6	▲4	▲4	▲7	▲13	-

# 設備投資、研究開発費、為替状況

## ◆設備投資の状況

(単位：億円)

	2015年度実績	2016年度実績	2017年度計画
設備投資額	167.6	149.1	200.0
減価償却費	130.6	120.8	130.0

## ◆研究開発投資の状況

(単位：億円)

	2015年度実績	2016年度実績	2017年度計画
研究開発投資	168.2	179.8	180.0

## ◆為替状況

(円)

	2015年度実績				2016年度実績				2017年度想定			
	4-12	4Q	下期	通期	4-12	4Q	下期	通期	4-12 (実績)	4Q	下期	通期
対 米ドル	121.6	118.5	119.8	120.8	106.3	114.5	109.6	108.4	111.7	110.0	111.1	111.3
対 ユーロ	134.2	129.7	131.8	133.0	118.5	121.5	118.4	119.2	127.1	130.0	131.2	127.8

# B/S構造の推移

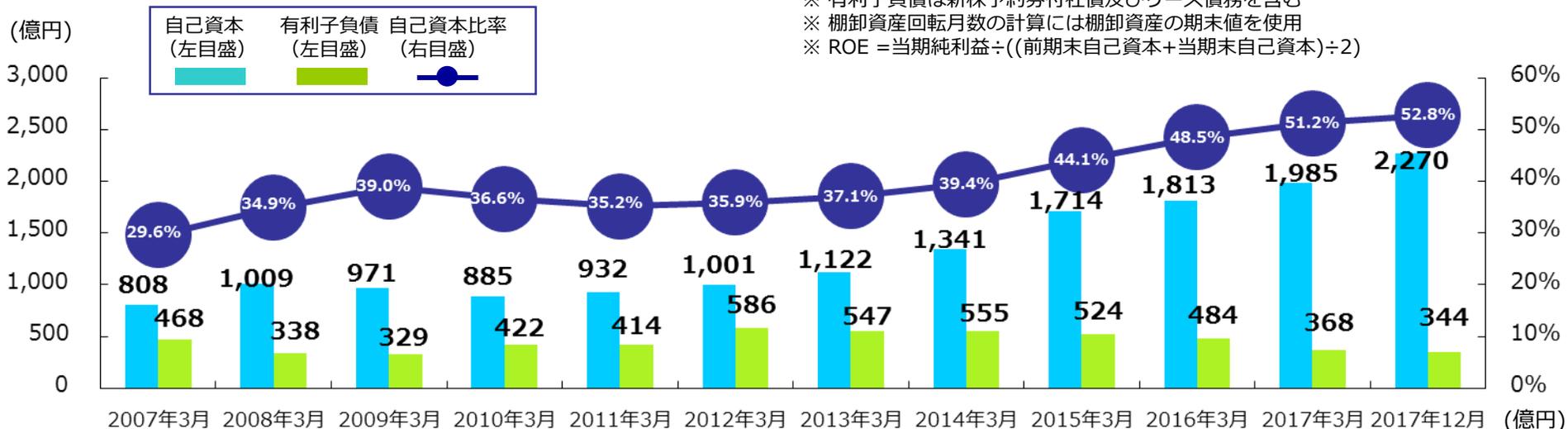
## 2017年3月20日時点

- ▶ 自己資本比率 51.2%
- ▶ 自己資本 1,985億円
- ▶ 有利子負債 368億円
- ▶ D/Eレシオ 0.19  
(ネットD/Eレシオ) 0.04
- ▶ 棚卸資産 799億円  
(回転月数) (2.4ヶ月)
- ▶ ROE 10.7%

## 2017年12月20日時点

- ▶ 自己資本比率 52.8%
- ▶ 自己資本 2,270億円
- ▶ 有利子負債 344億円
- ▶ D/Eレシオ 0.15  
(ネットD/Eレシオ) 0.03
- ▶ 棚卸資産 1,048億円  
(回転月数) (2.8ヶ月)

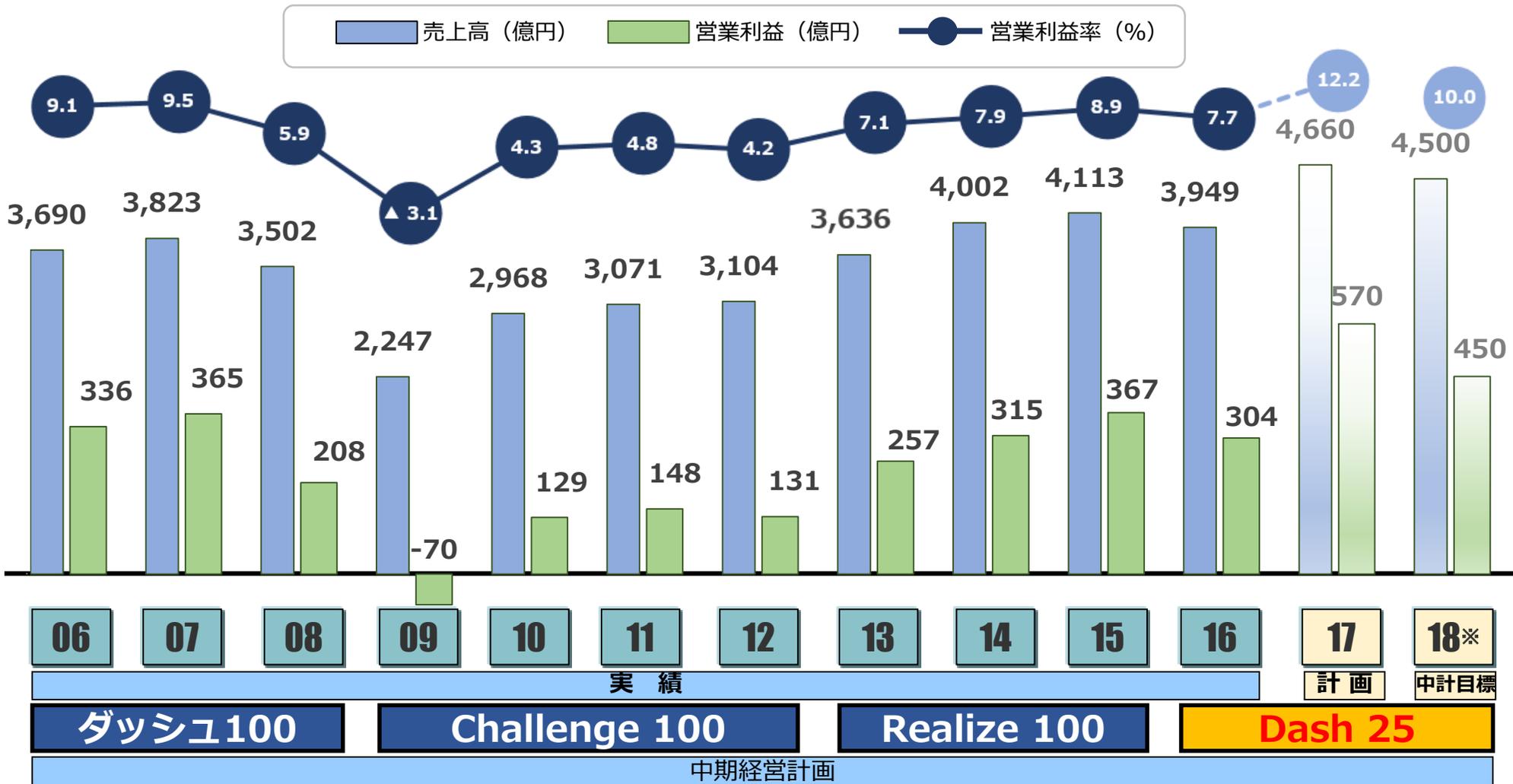
※ 有利子負債は新株予約券付社債及びリース債務を含む  
 ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用  
 ※ ROE = 当期純利益 ÷ ((前期末自己資本 + 当期末自己資本) ÷ 2)



営業CF	150	177	125	40	25	64	246	240	290	320	338	257
投資CF	▲ 61	▲ 99	▲ 107	▲ 65	▲ 67	▲ 119	▲ 181	▲ 169	▲ 279	▲ 224	▲ 189	▲ 156
フリーCF	89	78	18	▲ 24	▲ 43	▲ 55	66	70	11	95	148	102

# 連結売上高・営業利益推移（2006年度～2018年度計画）

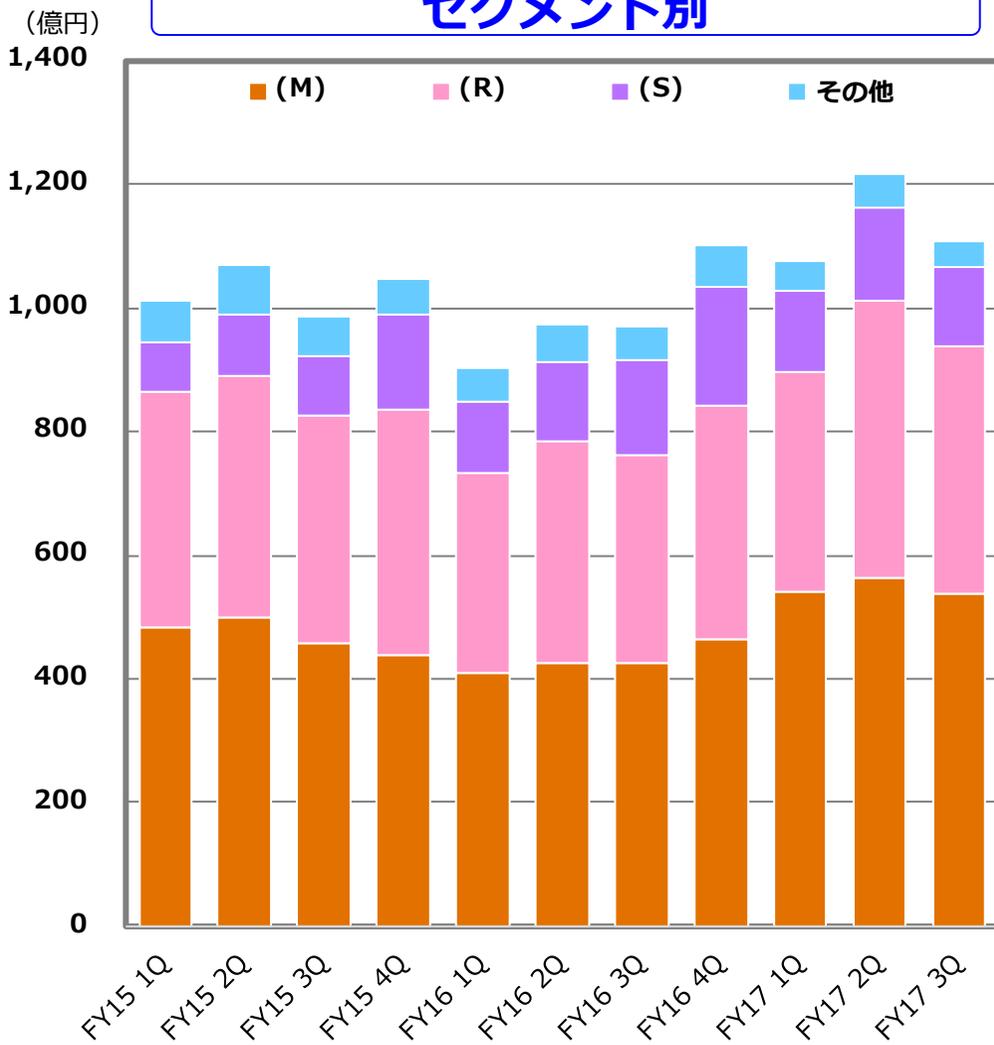
## ● 中期経営計画「Dash 25」の目標を1年前倒しで実現する見通し



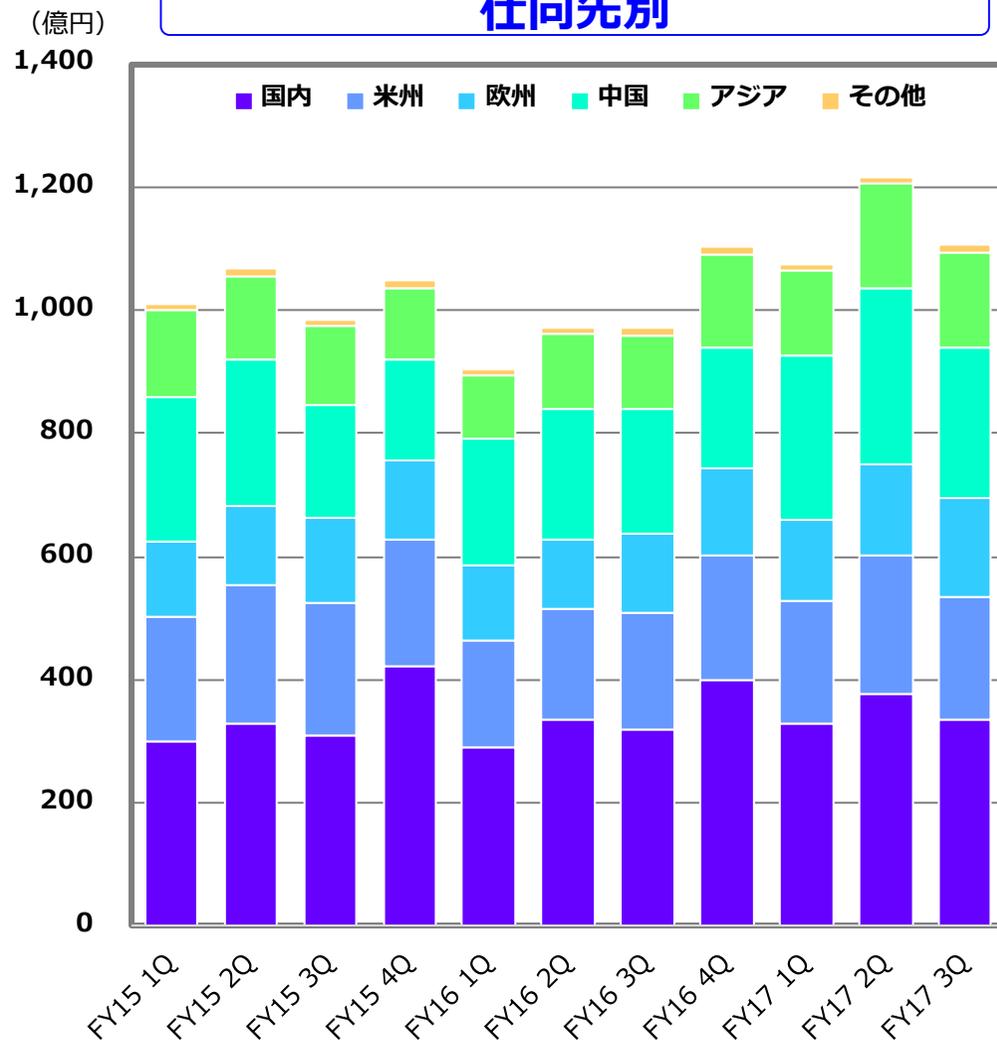
※16年4月策定時の数値

# 四半期連結売上高推移

## セグメント別



## 仕向先別

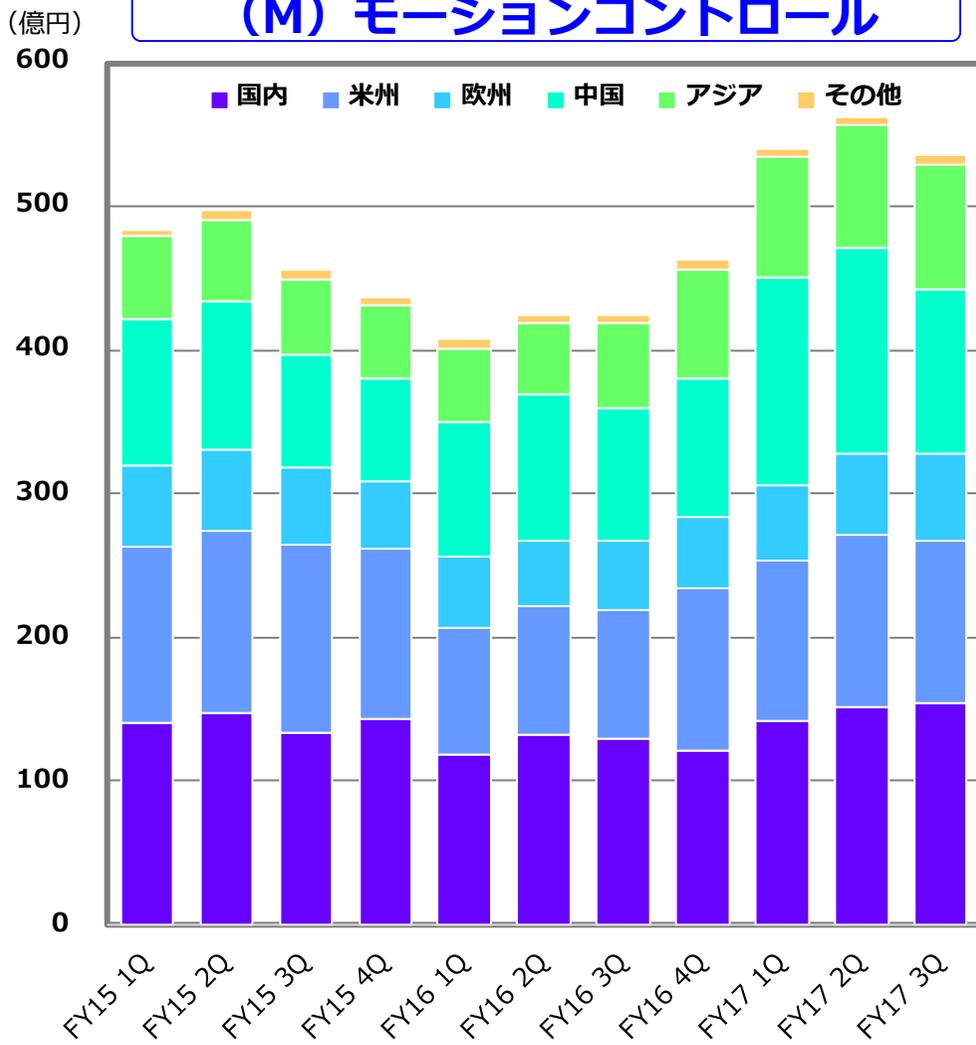


[注.1] 表記：(M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) = システムエンジニアリング

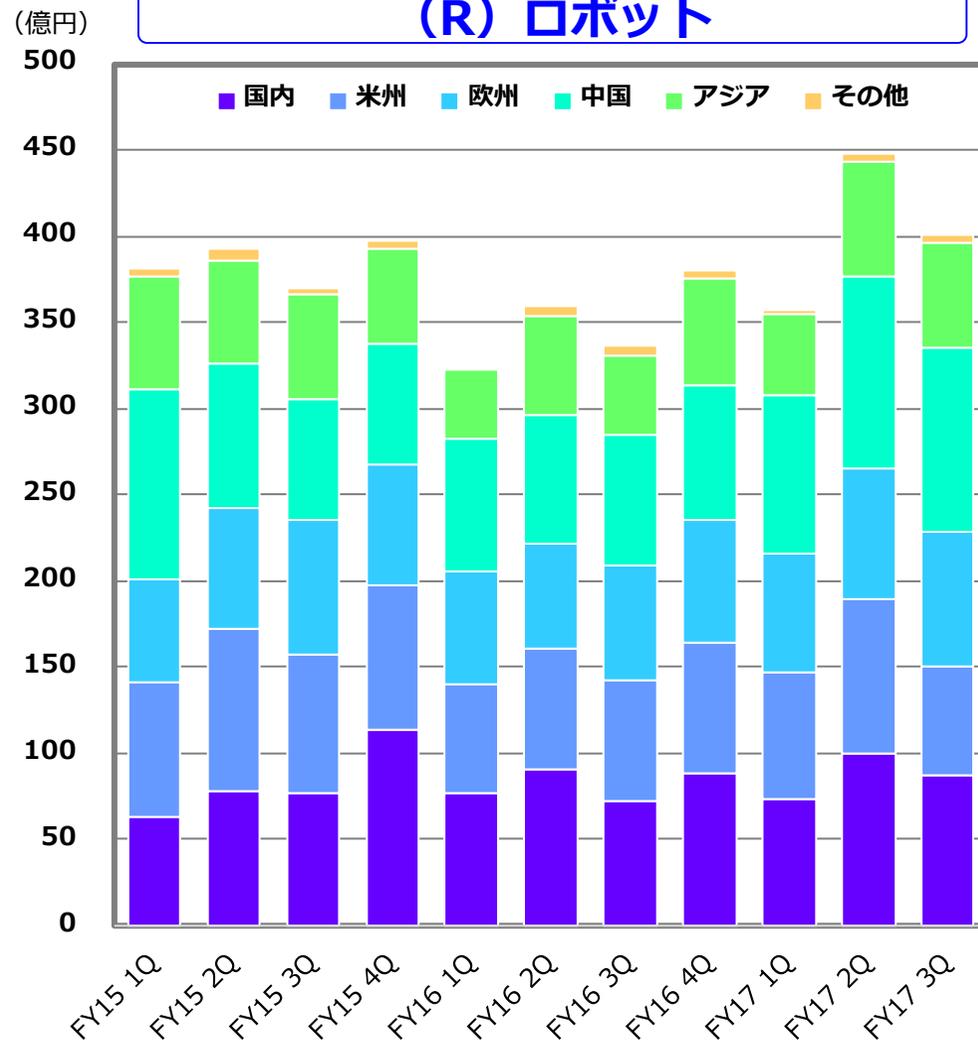
[注.2] FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

# 四半期連結売上高推移

## (M) モーションコントロール



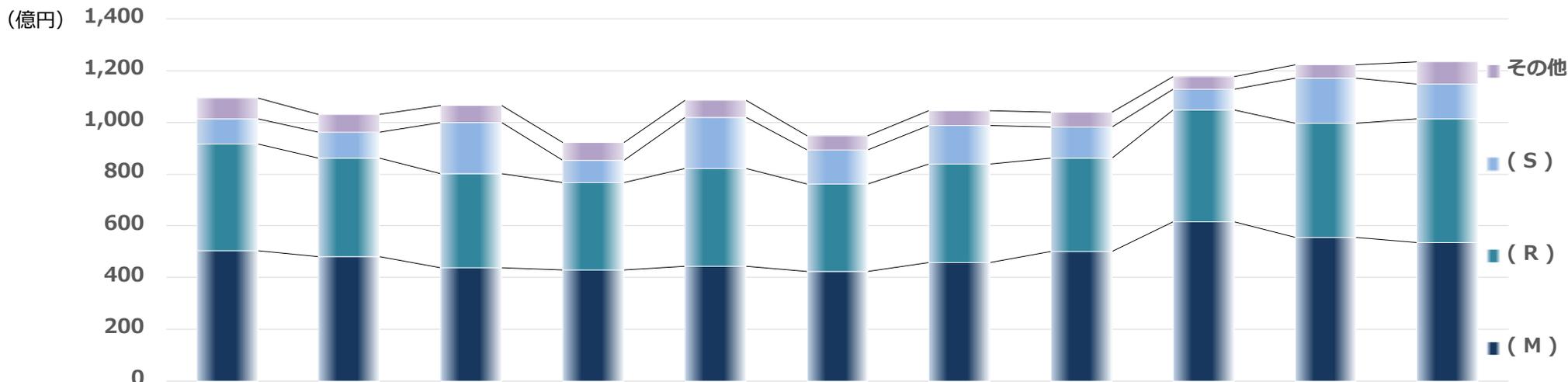
## (R) ロボット



[注] FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

# 四半期連結受注推移（セグメント別）

※為替は期中平均レートを使用



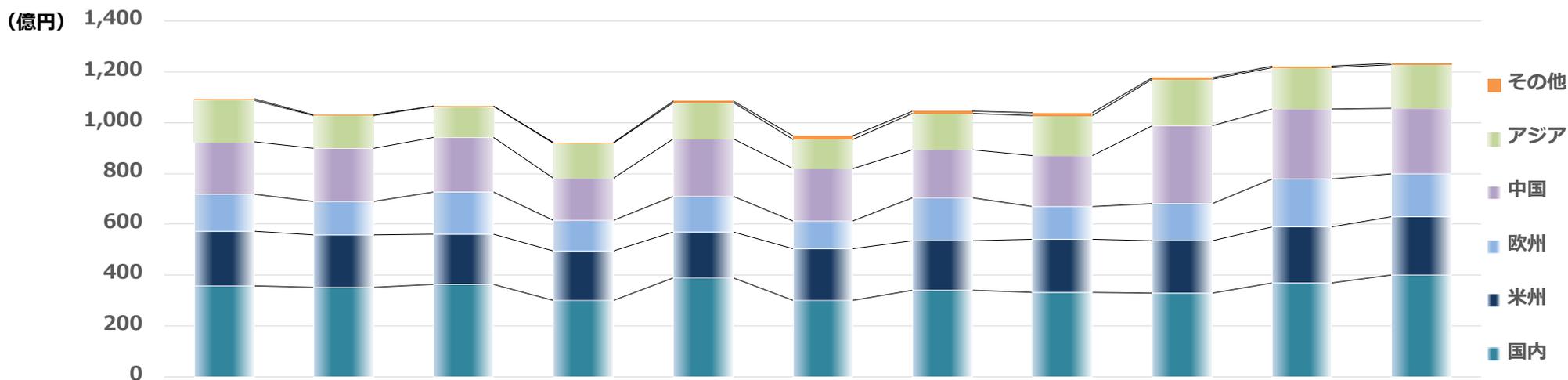
		FY2015				FY2016				FY2017		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
全社	YoY	+8%	+6%	+1%	▲17%	▲1%	▲8%	▲2%	+13%	+8%	+29%	+18%
	QoQ	▲1%	▲6%	+3%	▲14%	+18%	▲13%	+10%	▲1%	+13%	+4%	+1%
YoY	(M)	+3%	+5%	▲8%	▲12%	▲12%	▲12%	+5%	+17%	+39%	+31%	+17%
	(R)	+17%	+18%	+1%	▲14%	▲9%	▲11%	+5%	+7%	+14%	+31%	+25%
	(S)	+23%	+3%	+40%	▲37%	+106%	+31%	▲24%	+43%	▲59%	+33%	▲10%
QoQ	(M)	+3%	▲4%	▲9%	▲2%	+3%	▲4%	+8%	+9%	+23%	▲10%	▲3%
	(R)	+6%	▲8%	▲4%	▲7%	+12%	▲11%	+13%	▲5%	+19%	+2%	+8%
	(S)	▲28%	+5%	+96%	▲57%	+134%	▲33%	+14%	▲20%	▲33%	+118%	▲23%
為替レート	円/ドル	120.2	123.5	121.0	118.5	110.8	103.5	104.8	114.5	111.9	111.1	112.2
	円/ユーロ	131.2	137.4	133.9	129.7	124.5	115.6	115.3	121.5	120.9	127.9	132.4

[注.1] 表記：(M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) = システムエンジニアリング

[注.2] FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

# 四半期連結受注推移（仕向先別）

※為替は期中平均レートを使用



		FY2015				FY2016				FY2017		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
全社	YoY	+8%	+6%	+1%	▲17%	▲1%	▲8%	▲2%	+13%	+8%	+29%	+18%
	QoQ	▲1%	▲6%	+3%	▲14%	+18%	▲13%	+10%	▲1%	+13%	+4%	+1%
YoY	国内	▲3%	▲7%	▲11%	▲16%	+9%	▲15%	▲6%	+11%	▲15%	+23%	+18%
	米州	+30%	+17%	+3%	▲8%	▲17%	▲1%	▲2%	+7%	+15%	+9%	+17%
	欧州	+15%	+6%	+24%	▲29%	▲3%	▲18%	+2%	+6%	+2%	+73%	▲0%
	中国	▲7%	+14%	+18%	▲21%	+10%	▲2%	▲12%	+21%	+36%	+34%	+38%
	アジア	+32%	+14%	▲10%	▲12%	▲13%	▲10%	+17%	+15%	+27%	+40%	+20%
QoQ	国内	+0%	▲2%	+3%	▲17%	+29%	▲23%	+14%	▲2%	▲1%	+12%	+9%
	米州	+1%	▲4%	▲3%	▲2%	▲8%	+14%	▲5%	+7%	▲1%	+8%	+2%
	欧州	▲14%	▲9%	+26%	▲28%	+17%	▲23%	+58%	▲25%	+13%	+30%	▲9%
	中国	▲2%	+2%	+2%	▲23%	+37%	▲9%	▲9%	+7%	+53%	▲11%	▲6%
	アジア	+6%	▲21%	▲5%	+12%	+4%	▲19%	+23%	+10%	+15%	▲10%	+5%

[注.] FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

# 主要生産拠点



# **YASKAWA**

© 2018 YASKAWA Electric Corporation